

秋ノ九表

いけにむかしの月をみるかな

寂然へじやくねんかうやにまいりてふかき山のもみち

といふ事を宮へみやの法印へほうめん御あんじつに

てよむべきよし申侍しにまいりあひ

て

さま／＼のにしきありけるみ山かな

花見し峯へみねをしぐれそめつゝ

都へみやこにむかしゆかり有所へあるところにとまりて

こしかた行末へゆくすゑの物語へものがたりしつゝ袖をしほり